



クリスマス、そして新年を迎える今こそ、 除染への具体的な働きを進めましょう。

園長 山下勝弘

クリスマスを待ち望む12月、ドイツのキリスト教会関係者から、白河めぐみ学園・白河こひつじ学園の児童に、サンタクロースの形をしたチョコレートがクリスマス・プレゼントとして贈られてきました。そえられていたクリスマスカードには、「メリー・クリスマス。放射能の除染は進みましたか。サンタクロースが放射能を心配せずに学園の子どもたちを訪ねることができるよう、願い祈っています。私たちに協力できることがあれば教えてください」と書かれていました。

ドイツのみなさまが、福島県に発生した原発事故と、それによる放射能被害に心を痛めて、安心して生活できる環境の実現のために、具体的な行動を考えてくださることに感謝するとともに、気づかされたことがありました。それは、原発事故被害、放射能被害の事実がいつの間にか、わたしたちの心から薄れて消えていこうとしている現実です。放射能に汚染したグラウンドの土が2年8ヶ月たった現在も、グラウンドの一角に放置されていても、それを特に意識しないで過ぎていく毎日がある、わたしたちの現実に恐怖を感じました。

クリスマス・カードの最後は「放射能が消滅した中で、クリスマスの喜びがお祝いできることを心から祈っています」という言葉で結ばれていました。

クリスマスと2014年の新しい年を迎えようとしている今こそ、放射能の除染と被害をなくする働きを、具体的に進める決意を強くしていきましょう。

メリークリスマス



12月17日、クリスマス会を行ないました。礼拝では、「クリスマス」についてのスライドや、聖歌隊による賛美歌、トーンチャイム演奏を通して、心温まる一時となりました。その後の会食では、美味しく食事を頂き、サンタクロースも登場して、とても楽しい時間を過ごすことができました。

親子お楽しみ会



11月24日、秋の親子お楽しみ会を行ないました。交流ホームでは劇団ボロボロによる劇を観たり、めぐみ学園の全員で「カントリーロード」の合唱と「ふるさと」のトーンチャイム演奏をしました。ゲームコーナーには水ヨーヨー、輪投げ、射的、玉入れ、くじ引きのコーナーがあり、お父さん、お母さんと一緒に楽しみました。

テニス交流会



今年もみんなが大好きなテニス交流会が行ないました。いつもお世話になってるボランティアの方々と一緒にテニスを行ない、楽しい交流の時間となりました。

卒園おめでとう



10月24日、卒園児の送別会を行ないました。皆と一緒にセレモニーと会食の時間を過ごす中で、お別れ、励まし、感謝の思いを互いに伝え合いました。新しい生活の中で、元気に活躍されることを願っています。

合同防災訓練



11月11日に総合防災訓練を行ないました。今年は天候不良のため屋内での訓練となり、消防署の方のお話や消火器を使った消火の様子を見せてもらいました。日ごろの避難訓練の大切さを実感する機会になりました。

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組みます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

